

えびどの

I Will Inform you.

広報

2024
APRIL
vol.690

4

Ebino city Public relations

今月の掲載記事

令和6年度施政方針
令和6年度当初予算
市役所の組織を紹介します
新職員を迎え新組織体制でスタート
飯野小・中・高連携事業
TOPICS
pick up information



令和6年度

「施政方針」

えびの市議会3月定例会が2月26日から3月19日まで開かれ、村岡市長は、「令和6年度施政方針」を述べました。その一部を抜粋・要約してお知らせします。

コロナ禍前の「日常」を取り戻しつつありますが、地域社会には新たな課題が生じています。人口減少問題や長引く物価高騰は、市民生活や産業活動等に大きな負担や制約を与え、さまざまな分野や産業に波及し続けています。経済社会状況をGDP（国内総生産）といった経済指標のみで測るのではなく、満足度（Well-being）等の観点も含めて、多面的に把握して政策に反映し、まちづくりの主役は市民であることを基本に、歳出の内容を前向きに不断に見直し、デジタルの力も活用して地方創生の取り組みを進めます。

■えがお【市民生活】

・新たな「えびの市こども計画（仮称）」の策定を進め、「こども未来戦略」による児童手当拡充、ならびに市独自の施策である第3子以降の保育料・副食費無料化および子ども医療費助成等、経済的負担軽減について引き続き取り組みます。また、子育ての不安や悩みを相談できる場としての地域子育て支援拠点を充実・強化します。さらに、母子保健・児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う機関である「こども家庭センター」の設置を検討します。
・スマートウエルネスシティ構想の実現に向け、「元気で健康なえびの市づくり計画」に基づき、健康づくりの推進を図ります。
・第9期えびの市高齢者保健福祉計

用した敷料の開発・実証に取り組みます。

・みどりの食料システム法に基づき、環境への負荷を低減する有機農業等の推進や生分解性マルチの利用促進などを支援します。

・市内産栗生産拡大を図るための機械導入等の支援拡充を行います。

・県営畑かん事業および水田の県営ほ場整備事業は、事業実施地区の早期完成と、計画的な事業採択に向け推進します。

・森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度の推進や商工会館建設などの木材利用に取り組みます。

・生活道路について計画的に拡幅改良等を行い、早期完成に努めます。

・河川の堆積土の浚渫を行うなど、被害軽減に努めます。また、治水対策として川内川の氾濫防止のための内水対策・下方井堰早期改築・排水機場能力向上を国に要望します。さらに川内川上流の砂防堰堤設置や河川護岸整備等の抜本的な対策を県に要望します。

・経年化や災害を見据え、水道施設の更新事業を計画的に推進します。また、「えびの市水道事業経営戦略」により、持続可能な水道事業経営基盤の維持に努めます。

■つづける【教育】

・30人学級事業に継続して取り組み、AIドリルなどICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの実現や、

学力の向上と生徒指導の充実を図ります。

・再構築した「えびの学」をもとに、地域学校協働活動と連携してキャリア教育に力を入れ、児童・生徒が、自分の生き方について考え、ふるさとを愛する心やふるさとへの誇り、ふるさとに貢献する態度を育みます。

・保護者の経済的負担軽減のため、年間を通じた小中学生の学校給食費の無償化事業に取り組みます。

・令和9年に宮崎県で開催される国民スポーツ大会に向け、実行委員会において計画的に準備を進めます。

■まち【市民協働・行政経営】

・市民と行政が役割と責任を理解し、対等な立場で相互に連携・協力しながら、まちづくりに取り組めるよう努めます。また、協働のまちづくりの重要な担い手である自治会や、まちづくり協議会の自主性・自立性を尊重し、地域自治の推進を図ります。

・デジタル・ガバメント実行計画における自治体の情報システムの標準化・共通化の整備を進めます。また、高齢者が、安心してスマートフォンなどのデジタル端末を使用できるような支援体制を継続します。

・移住者向けの支援メニューを一部拡充して移住を推進します。また、飯野高等学校全国梓生徒等には、下宿等費用助成事業および生徒寮運営支援により、教育移住を推進します。

画・介護保険事業計画」に基づき、介護サービスが安定的に提供されるよう適正運用に努め、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしくいきいきと笑顔で暮らし続けることができるまちづくりに取り組みます。また、介護・フレイル予防の普及啓発や活動支援を実施します。さらに、質の高いケアマネジメントを支える介護人材確保・育成支援を新たに実施します。

・地域共生社会の実現のために、令和7年度からの重層的支援体制整備事業の本格実施に向けて、新たに社会参加のための地域づくり事業・参加支援事業に取り組みます。

・障がいのある人が、自分らしく活躍できるための啓発や配慮の提供および社会参加等の促進に取り組みます。また、市内の障害者福祉施設等で働く人材の確保・離職防止のための支援事業を展開します。

・「えびの市立病院経営強化プラン」により、診療機能向上・収益増加を図ります。また、西諸3市町で「地域医療連携推進法人」を設立して、西諸3公立病院連携により、さらなる医師の確保ができるよう努めます。

・美化センターは、大規模改修により長寿命化を図るため、詳細仕様書の作成に取り組みます。

■まじわり【産業・インフラ】

・地域商社により、ふるさと納税業務を推進し、寄附額の向上を実現すると

ともに、本市のシティセールスの向上に努めます。

・国立公園「霧島」指定から90周年を迎えることから、えびの高原を中心に年間を通じた誘客イベントを実施し、えびの高原を含む霧島の魅力を広く発信します。

・国が整備を進めるかわまちづくり事業に合わせ、トイレ等の整備を行います。

・八幡丘公園整備を引き続き進め、白鳥温泉へ安定的な水源確保と効率的給水を行うために、整備基本計画を作成します。

・産業団地へのさらなる立地のため、広告媒体を活用した情報発信を行うとともに、企業訪問による情報発信や立地に向けた具体的な協議を進めます。また、令和4年度に産業団地へ立地決定した2社の操業開始に向けたフォローアップにより、円滑に事業開始できるよう支援します。

・将来の地域農業のあり方や、農地利用の姿を明確化する「目標地図」を含む「地域計画」を定め、農地バンクの活用を図りながら、営農意欲のある経営体への農地の集積・集約化による効率化や生産性の向上を進めます。

・畜産経営は、生産コスト上昇により、かつてない非常に厳しい経営を強いられています。常に情勢を注視して必要な対策を的確に講じます。また、市内産畜産物の積極的なPRに努めます。さらに、荒廃竹林等の未利用資源を活

かつかつてない非常に厳しい経営を強いられています。常に情勢を注視して必要な対策を的確に講じます。また、市内産畜産物の積極的なPRに努めます。さらに、荒廃竹林等の未利用資源を活

一定の整理を行うことで、将来の負担軽減策の検討を行います。また、行政改革推進のために、業務プロセス改革（BPR）により、行政運営の効率化や、市民の利便性向上に向けた不断の取り組みを進めます。

どのような危機に直面しても、しなやかに回復し、乗り越える力をもつ自治体運営に努め、常に「常在危機（災害等に対して、常に危機意識をもって行動する）」の意識を共有し、One Teamとなつて、各種施策を展開してまいります。市民の皆さんと一体となり、「えがおが交わり続けるまち」霧島山のめぐみめぐる「えびの」の実現に向け、誠心誠意、各種施策・事業に取り組みでまいりますので、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。



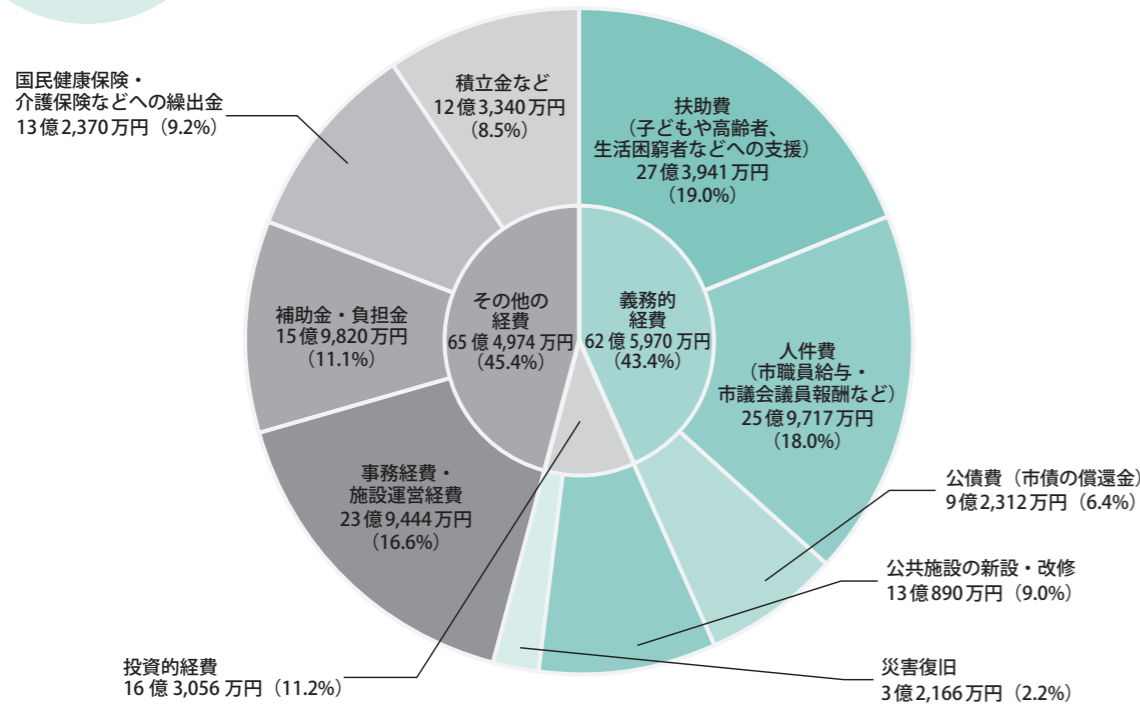
当初予算をお知らせします

令和6年度一般会計当初予算の総額は、歳入、歳出それぞれ144億4,000万円です。令和5年度当初予算と比較すると、3億1,800万円、率にして約2.3%の増額予算となりました。

歳出

144億4,000万円

歳出予算の主な事業内容については、来月「わかりやすい予算書」でお知らせします。

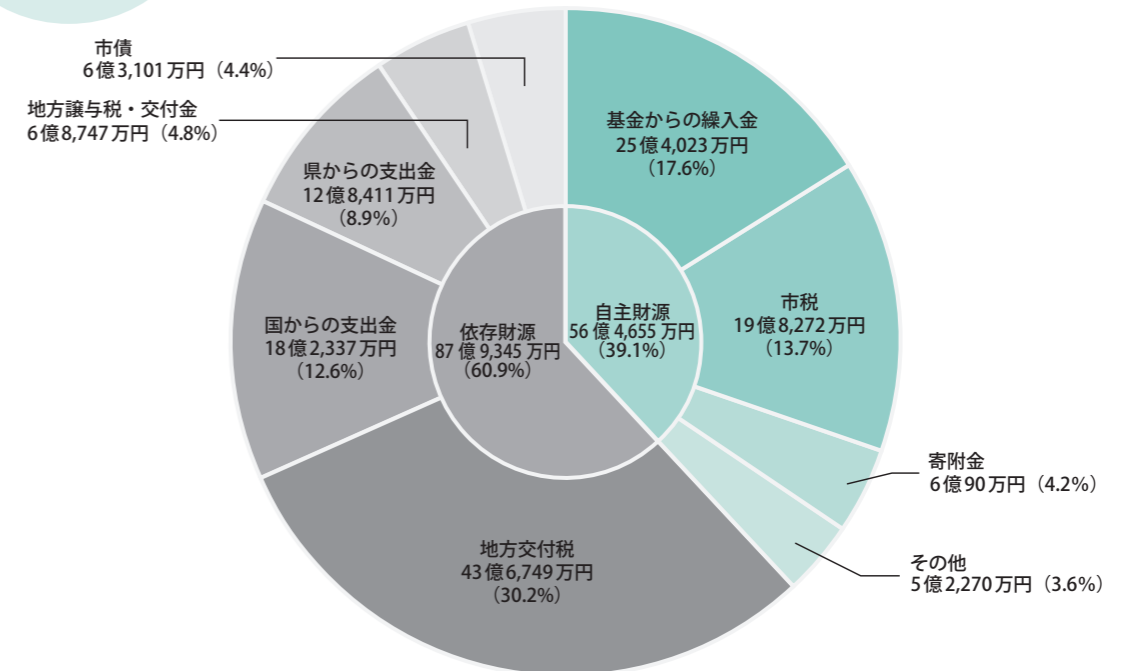


※義務的経費…その支出が義務付けられ、任意に削減することが困難な経費。
※投資的経費…その支出が建物、学校、道路など、資産形成に向けられる経費。

歳入

144億4,000万円

歳入予算の財源割合は、自主財源（市税など、自主的に収入できる財源）が39.1%、依存財源（国や県からの交付金・支出金や、市債による財源）が60.9%となっており、依存財源の割合が高くなっています。



※自主財源…市税など、自主的に収入できる財源。
※依存財源…国や県により決定された額を交付されたり、割り当てられたりする財源。

一般会計目的別歳出の状況

科目	6年度	5年度	増減率
議会費	140,774	139,802	0.7%
総務費	2,817,818	2,677,191	5.3%
民生費	4,498,554	4,452,196	1.0%
衛生費	1,269,130	1,424,357	△10.9%
労働費	13,821	15,939	△13.3%

科目	6年度	5年度	増減率
農林水産業費	1,333,266	1,270,260	5.0%
商工費	643,107	519,915	23.7%
土木費	866,667	890,947	△2.7%
消防費	415,463	386,037	7.6%
教育費	1,158,663	1,060,718	9.2%
災害復旧費	328,839	311,602	5.5%
公債費	923,121	945,225	△2.3%
予備費	30,777	27,811	10.7%
合計	14,440,000	14,122,000	2.3%

■お問い合わせ先
市財政課 財政係 ☎ 35-3716 (課直通)

市民一人当たりの予算額 (一般会計)

1人当たり 約82万6,323円
(対前年比約3万9,451円増)

1世帯当たり 約154万5,708円
(対前年比約5万3,369円増)



※住民基本台帳人口17,475人、9,342世帯で算出(令和6年2月29日現在)。

会計別予算の状況

会計	6年度	5年度	増減率
国民健康保険特別会計	2,971,869	3,060,441	△2.9%
後期高齢者医療特別会計	693,601	682,885	1.6%
介護保険特別会計	3,192,886	3,414,913	△6.5%
産業団地整備事業特別会計	35,403	35,287	0.3%
水道事業会計	660,651	641,479	3.0%
病院事業会計	1,098,843	1,260,417	△12.8%

※水道事業会計および病院事業会計は、収益的支出と資本的支出の合計を記載。

■市役所の組織を紹介します

市役所組織（4月1日現在）の業務内容等について紹介します。また、直通の電話番号を掲載していますので、各担当へのお問い合わせなどはこちらをご利用ください。

なお、市役所の電話番号（代表）は35-1111です。

課・事務局等	係・室等	主な業務内容	電話番号
総務課	人権啓発室	人権、女性相談、男女共同参画	35-3711
	行政係	固定資産評価審査委員会、条例・規則、行政組織、文書、行政改革、情報公開、個人情報保護	
	人事係	職員管理（任免、配置、身分、服務、給与、研修、福利厚生等）、各種委員任免	
企画課	政策係	総合計画、国土利用計画、広域行政、総合交通対策、施策評価、過疎計画、各種統計、公平委員会、地域振興	35-3712
	秘書係	秘書、渉外、儀式、褒賞、表彰	35-1111
	情報係	情報処理、高度情報化対策、行政情報の総合企画・調整、広報、公聴	35-3714
	定住対策係	定住促進、人口減少対策、地方創生総合戦略、ふるさと納税	35-3713
財政課	財政係	予算編成・統制、地方交付税、市債、公会計制度、財政効率化の推進	35-3716
	入札・契約係	入札・契約	
基地・防災対策課	基地・防災対策係	消防団・水防団、危機管理の総合調整、防災訓練、自主防災組織、防衛施設対策、自衛隊、地域安全・交通安全対策、防災行政無線	35-1119
市民協働課	市民協働係	市民協働事業、自治会、まちづくり協議会、地区コミュニティセンター、市民公益活動、市民活動支援センター、認可地縁団体、ボランティア、国際交流センター、地域おこし協力隊活動、学園都市、多文化共生	35-1118
財産管理課	管財係	市有財産の取得・管理・処分、庁舎管理、車両の集中管理	35-1120
	建築係	市有建築物の建設、営繕、建築確認、開発行為、特定空家等・管理不全空家等	
	住宅係	市営住宅・定住促進住宅の管理	
税務課	収納対策室	市税・県民税の徴収・収納、滞納整理、税諸証明の発行	35-3737
	市民税係	市税（固定資産税を除く）の賦課	35-3734
	固定資産税係	固定資産の評価、固定資産税の賦課	35-3735
	地籍調査係	地籍調査	35-3736
市民環境課	市民・年金係	戸籍、住民登録、印鑑登録、埋火葬・改葬、自動車臨時運行許可、国民年金、マイナンバーカード	35-1117 35-3730
	生活環境係	行政相談、消費生活、浄化槽、環境保全、環境苦情調整、市営墓地、畜犬登録	35-3731
	飯野出張所	戸籍、住民登録、印鑑登録、自動車臨時運行許可、税諸証明の発行、国民健康保険・国民年金・福祉に関する一部の手続き、マイナンバーカード	33-1111
	真幸出張所	同上	37-1111
健康保険課	美化センター	一般廃棄物の収集・運搬・処理・減量化・資源化、一般廃棄物処理事業の許可	33-5782
	医療保険係	国民健康保険および後期高齢者医療の資格・給付	35-3742
	賦課徴収係	国民健康保険税および後期高齢者医療保険料の賦課・徴収	35-3743
	市民健康係	成人保健、精神保健、感染症予防、地域医療、献血推進	35-1116
介護保険課	保健センター	成人保健、精神保健、感染症予防、予防接種	35-2446
	介護保険係	介護保険の認定・給付、介護保険料の賦課・徴収	35-1112
畜産農政課	地域包括支援センター	地域支援事業、要支援者のケアプラン作成、在宅介護支援センター	
	畜産振興室	家畜防疫対策、畜産振興	35-3744
	農政企画係	農業融資、農振の変更、道の駅、農家民泊、6次産業化、農村女性	
	担い手対策係	認定農業者、集落営農の組織化、農業法人、新規就農者・後継者対策、青年農業者団体、地域計画	
観光商工課	農産園芸係	農産・園芸の振興、転作制度、鳥獣害対策	35-1650
	観光係	観光振興、観光施設管理、矢岳高原、えびの高原、八幡丘公園、登山道（飯岳、えびの岳）管理	35-1114
企業立地課	商工係	地場産業振興、商工業振興、中小企業対策、雇用・労働対策	35-3728
企業立地課	立地推進係	企業立地、立地企業の育成、産業団地	35-3727
会計課	出納係	公金の出納	35-3723

課・事務局等	係・室等	主な業務内容	電話番号
福祉課	地域福祉係	地域福祉、民生委員・児童委員、災害弔慰金、戦傷病者・戦没者遺族の援護、福祉タクシー利用助成（高齢者）、高齢者福祉、養護老人ホーム真幸園、老人福祉センター、高齢者交流プラザ	35-1115
	障がい福祉係	障がい者（児）福祉、特別障害者手当・特別児童扶養手当、重度心身障害者（児）医療、福祉タクシー利用助成（障がい者）	35-3740
	生活保護係	生活保護、行旅病人の保護、行旅死亡人の処置、災害援助	
	生活・仕事支援室	生活・仕事支援	35-3741
子ども課	子育て支援係	児童福祉、保育園・幼稚園・認定こども園、児童クラブ、児童手当、子ども医療費助成、病後児保育、ファミリーサポートセンター	35-3738
	こども相談係	母子保健、子どもの予防接種、ひとり親の支援、要保護児童対策、子どもの貧困対策、児童扶養手当、ひとり親・寡婦医療費助成、子育て支援センター	35-3739
	子育て世代包括支援センター（保健センター内）	妊娠・出産・育児の相談	35-1707
	家庭児童相談室	児童・ヤングケアラー相談	35-0732
建設課	管理係	道路占用許可、市道の認定・廃止、境界立ち会い、法定外公共物（里道・水路）の使用許可・払い下げ等、景観計画	35-3724
	建設係	市道改良工事、橋梁修繕、都市計画	
	維持係	市道・河川の維持工事、災害復旧	
	補修係	市道の維持補修	
農林整備課	畑かん推進室	畑かんがいがい事業の推進	35-3725
	基盤整備対策室	水田ほ場整備事業の推進、土地改良区	
	土地改良係	土地改良事業、農地・農業用施設災害復旧事業、多面的機能支払交付金事業	
	林務係	市有林管理、森林保護、特用林産物、鳥獣保護・駆除、治山・林道	
水道課	経営管理係	庶務、財務、予算・決算、使用開始・中止の受付、検針業務、水道料の収納・徴収	35-1113
	工務係	水道用水の供給、水道施設の維持管理	
監査委員事務局	—	例月現金出納検査、決算審査等、財政援助団体等監査、定期監査、住民監査請求監査	35-1111
議会事務局	議事運営係	議会事務	35-3718
農業委員会事務局	農地調整係	農地の売買貸借・転用、農地中間管理事業、農業委員会事務、農業者年金	35-3726
選挙管理委員会事務局	選挙係	選挙事務、直接請求、裁判員候補者予定者名簿調製、検察審査員候補者名簿調製	35-3732
学校教育課	総務係	教育委員会、職員管理、学校予算、栄典、教育行政相談、学校施設等管理、教育の調査・統計、通学路安全点検、学校職員の服務	35-3721
	教育係	学校経営指導、児童生徒の就学、奨学金、児童生徒の安全管理・就学援助、教科用図書、就学時健康診断、人権同和教育	
	防災食育センター	学校給食、食育	33-0270
社会教育課（文化センター）	社会教育係	生涯学習、人権同和教育、青少年育成、社会教育関係団体、地域学校協働活動、市民図書館	35-2268
	市民体育係	体育施設、生涯スポーツ振興、スポーツ団体、国民スポーツ大会	
	文化係	文化振興、文化財保存、文化センター、歴史民俗資料館	
市立病院	診療科（外科・内科・精神科・整形外科・放射線科・リハビリテーション科）	診療・往診、診療録の記録	33-1023 33-1024
	薬局	調剤、薬剤処方	
	検査室	原虫学的検査、寄生虫学的検査、血清学的検査、生化学的検査、細菌学的検査、生理学的検査、血液検査	
	放射線室	放射線業務	
	リハビリテーション室	理学療法業務、作業療法業務	
	栄養管理室	栄養指導、給食業務	
	看護管理室	看護、医師の診療補助、入退院の連絡調整、手術介助	
	地域医療連携室	保健・医療・福祉・介護の相談業務、入退院調整、医療機関との連携推進	
経営管理係	庶務・財務、予算・決算、診療情報管理		

新職員を迎え 新組織体制でスタート

令和6年4月1日付で、市職員の人事異動が発令されました。令和6年度のスタートにあたり、新規採用職員を紹介します。

令和6年4月1日付で、新規採用職員11人（一般事務職10人・土木技師1人）が入庁しました。新たな実務研修派遣として、令和6年2月に設立した地域商社「株式会社えびの」に2人、鹿児島県霧島市（霧島ジオパーク推進連絡協議会事務局）に1人の職員を派遣しました。また、引き続き宮崎県と宮崎県後期高齢者医療広域連合にも職員を1人ずつ派遣しています。



宣誓する新規採用職員

①緒方航 (おがたこう)

②福祉課
③霧島市

④豊かな風土と自然に囲まれたえびの市で、市民の皆さんにとって、架け橋のような存在になれるよう頑張りたいです。

令和6年度新規採用職員11人を紹介します

顔写真	①氏名
	②配属先
	③出身地
	④抱負

①立山昂生 (たてやまこうせい)

②建設課
③小林市

④市職員としての自覚をしっかりと持ち、自分が生まれた病院もあって、馴染みのあるえびの市の活性化に取り組んでいきたいです。

①古川凌太 (ふるかわりょうた)

②総務課
③高原町

④市民の皆さんに積極的に関わり、安心して笑顔で暮らしていけるまちづくりに貢献できるように努めます。

①山下廉太郎 (やましたれんたろう)

②介護保険課
③小林市

④仕事を通して、えびの市の魅力を見つけ、より良いまちにできるように、失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦していきます。

①宮久保渉 (みやくぼあゆむ)

②基地・防災対策課
③杉水流

④いつも明るく仕事することを心がけていきます。早く仕事を覚え、市民の皆さんに信頼してもらえるように頑張ります。

①福田麗羽 (ふくだれいは)

②こども課
③麓

④市職員としての自覚と責任を持ち、1日でも早く仕事に慣れ、市民の皆さんと円滑なコミュニケーションが図れるように頑張ります。

①大山隼平 (おおやましゅんぺい)

②健康保険課
③鹿児島市

④窓口での相談や質問などを受ける際に、丁寧に話を聞き、わかりやすい説明ができるように心がけていきます。

①尾山琉仁 (おやまりゅうと)

②建設課
③灰塚

④1日でも早く仕事を覚え、市民の皆さんに信頼される職員になれるように全力で頑張っていきます。

①砂本航希 (すなもとこうき)

②市民環境課
③串間市

④1日でも早く仕事を覚え、市民の皆さんに信頼してもらえるように、笑顔を忘れず仕事を頑張りたいです。

①野田悠太 (のだゆうた)

②農林整備課
③小林市

④1日でも早く仕事を覚えていき、市民の皆さんから信頼してもらえるような職員になれるように努めていきます。

①中釜康佑 (なかがまこうすけ)

②水道課
③曾於市

④1つ1つの仕事を覚えていき、市の職員として必要なことができるように精いっぱい頑張ります。

飯野小・中・高連携事業

飯野小・中・高連携事業は、平成20年度から始まり、令和6年度で、17年目を迎えました。全国的に見ても3種の学校が連携するのは極めて異例です。年間2回、3校の職員が一堂に会する「小中高合同研究会」が行われ、新型コロナウイルス感染症が蔓延した時期もオンラインで会議を継続していました。「知の向上部会」、「体の向上部会」、「徳の向上部会」の3つに分かれて、さまざまな企画を考え、実践しています。



体の向上部会



飯野小学校が中心となって活動している「体の向上部会」では、健康づくり・食育・体力向上の3つの研究班に分かれ、保護者へのアンケート調査や、家庭学習における交流、小高での田植え・稲刈りを計画的に行っています。

徳の向上部会



飯野高校が中心となって活動している「徳の向上部会」では、年に2回朝のあいさつ運動を実施しています。また、学校周辺のクリーンアップ作戦も毎年実施しています。いずれも生徒たちの豊かな人間性を育む機会となっています。今後は、道徳教育の連携の可能性を探りながら、心の教育や人権教育にも活動の幅を広げていければと考えています。

知の向上部会



飯野中学校が中心となって活動している「知の向上部会」では、国語・社会・算数数学・理科・英語に分かれて、各教科の学習内容に応じた研究テーマを設け活動してきました。夏休みには、小中高社会科ワークショップを開催し、共通のテーマと一緒に学習しました。また、飯野文字力向上コンテストや飯野算数・数学コンテストを実施時期をそろえて取り組んでいます。

飯野小・中・高で連携した活動

令和5年度の飯野小・中・高連携事業の活動を紹介します。

● LGBTQ の授業



高校の探究活動で学んだLGBTQに関する学びを、飯野小学校の5年生に授業をしています。

● お弁当作り講習会



高校の充実した調理施設を利用して、生活文化科2年生と中学2年生が、一緒にお弁当を調理しています。

● 門松作り



地域の人たちと小・中・高のPTAが協力して、門松を作成しています。新聞等でもたびたび紹介されています。

● 子どもサミット



夏休み期間に行われている3校の児童会・生徒会役員が集う集会。高校生が進行し、小・中学生の意見を集約します。

● いいのっ子 アートスクール



飯野高校の美術部が中心となって、小学生の創作活動の手助けをしています。

● ひなた場



高校生が、人生グラフの説明をしたり、中学生からの質問に答えたりと、中学生の悩みと向き合っています。

● グローカル成果発表会



飯野地区の連携を含むえびの市の小・中・高一貫教育の集大成となるのが「グローバル学習成果発表会」です。小・中学校で学んだ「えびの学」で培った探究心をさらに深め、「地域貢献活動」、「地域探究活動」、「地域支援活動」として実践しています。

12年間の小・中・高一貫教育を経験した卒業生の中には九州大学への進学者2人、大分大学医学部への進学者1人をはじめ、多数の国公立・私立大学への進学者を育てています。また、大学や専門学校を卒業後、就職先としてえびの市内を選ぶ生徒も増えています。

今後も、えびの市の学校教育ビジョンである「ふるさと『えびの』に誇りをもち、未来を切り拓く『人財』の育成」を目指して、えびの市内の小・中・高のさらなる連携を進めていきます。

お問い合わせ 宮崎県立飯野高等学校 ☎ 33-0300

市役所からのお知らせ

Pick up information



設立を報告した安達雄樹代表取締役と村岡市長（右から）



事務所開きでテープカットが行われました

これまで設立を進めていました地域商社が、2月9日に「株式会社えびの」として設立しました。同社は、市として掲げる地域ビジョン「えびの雄藩プロジェクト」伝統を守り新たな時代を切り開く「えびの」を推進するために設立しました。

ふるさと納税の寄付額の増加を目標に、ふるさと納税の中間処理業務やシティプロモーションなどを行っていきます。また、地元企業の商品の販路拡大などにも取り組

組み、地域活性化につなげていきます。

3月19日に設立に伴う記者会見が行われました。会見の中で、同社の安達雄樹代表取締役は「地域の資源に磨きをかけて、えびの市の魅力を伝えていきます。また、民間の決断力の早さを生かし、業務を進めていきます」とあいさつしました。

4月1日に、事務所開きが行われ、業務をスタートしました。

産業

「株式会社えびの」設立

問 株式会社えびの ☎48・1188（直通）

市役所からのお知らせ

Pick up information



宮崎青葉郵便局の中川正勝局長からオリジナル切手が贈呈



絵画・作文コンクールで環境大臣表彰を受賞した皆さん

3月17日、市文化センターで「国立公園『霧島』指定90周年記念式典」が行われました。

これは、3月16日に、えびの高原を含む国立公園「霧島」（現霧島錦江湾国立公園）が、国立公園に指定されて90周年を迎えたことを記念して行われました。

式典では、90周年を記念したオリジナルフレーム切手の贈呈式や、記念事業として行われた絵画・作文コンクールの表彰式、「国立

公園『霧島』100周年に向けて」をテーマにシンポジウムなどが行われました。会場には、市内外から約500人が来場しました。

また、俳優・武道家の藤岡弘さんを招き、「霧島への思い」仮面ライダー撮影秘話」と題して、記念トークショーも行われました。えびの高原での撮影の思い出や霧島山、宮崎県の自然に関するエピソードが語られ、来場者は、トークに夢中になっていました。

観光

国立公園「霧島」指定90周年記念式典

問 市観光商工課観光係 ☎35・1114（直通）

商工

新たに「けずりいちご」がえびのブランド認証

問 市観光商工課商工係 ☎35・3728（直通）



新たに認証を受けた仙波健一さんと村岡市長（右から）



認証を受けたけずりいちご

3月18日、市役所で「えびの市特産品ブランド認証交付式」が行われました。この事業は、市内の優良特産品を「えびのブランド」として認証し、付加価値を付けて広く売り出すことで、特産品の販売促進を図っていきます。

また、ブランド認証品を充実させることで、誘客効果や地域産業の活性化につなげることを目的としています。

今回、新たにブランド認証

された特産品は、SEN'S Berry Farmの「けずりいちご」です。今回で、えびのブランド認証を受けた商品は合計31品目になりました。

仙波健一さんは「ブランド認証されるような商品を出したかったので、とても嬉しく思います。いちご農家としてもつたいないという思いから、飯野高校生や周りの協力もあって作り上げることのできた商品です」と話していました。

検査結果

項目	pH	DO	BOD	SS	大腸菌数
単位	-	mg/L	mg/L	mg/L	CFU/100mL
環境基準	6.5～8.5	7.5以上	2以下	25以下	300以下
下久保原橋	7.4	10.0	0.6	1.0未満	49
二十里橋	7.4	9.5	0.7	1.0	127
池島橋	7.5	9.7	0.7	1.0	55
長江川橋	7.3	9.8	0.8	1.8	195
関川橋	7.6	9.6	0.5	1.5	45
新岩次橋	7.3	9.5	0.8	2.5	82
山川橋	7.3	9.4	0.5未満	1.5	200

※環境基準（昭和46年環境庁告示59号）の類型指定は河川A類型（川内川に流入する河川も含む）

環境

河川水質検査結果

問 市民環境課生活環境係 ☎35・3731（直通）

市では、河川の環境保全のため市内7カ所の水質検査を毎年行っています。

検査項目は、PH、水素イオン濃度、DO、溶存酸素量、BOD、生物化学的酸素要求量、SS、浮遊物質、大腸菌数の5項目です。

市では、合併処理浄化槽の普及啓発を図ることで、河川の生活排水処理対策を行い、河川の汚濁防

止に努めています。

各家庭でも生活排水汚濁防止に協力し、私たちの共有する貴重な財産でもある河川の環境保全に努めましょう。

※検査結果は、市民の皆さんの環境美化の目安としてください。

市役所からのお知らせ

Pick up information

市では、「現金主義・単式簿記」によるこれまでの地方自治体の会計制度に「発生主義・複式簿記」といった企業会計の要素を取り込んだ新地方公会計制度に基づき、総務省から示されている「統一的な基準」により、一般会計等に地方公営企業会計および関係団体を連結した財務書類を作成、公表しています。

令和4年度決算の財務書類をもとに、バランスシート(貸借対照表)を作成しました。

■連結対象となる会計・団体

- 【一般会計】
- 【特別会計】
 - 国民健康保険
 - 後期高齢者医療
 - 介護保険
- 産業団地整備事業
- 【企業会計】
- 水道事業
- 病院事業
- 【関係団体】
 - 西諸広域行政事務組合
 - 宮崎県後期高齢者医療広域連合
 - 宮崎県市町村総合事務組合

●連結貸借対照表(令和5年3月31日現在)

借方(資産)		貸方(負債・純資産)	
○固定資産 道路や学校、市営住宅などの土地・建物等の総資産額	477億7,400万円	負債の部 道路や学校、市営住宅などの資産をつくるために借りたお金等(将来世代の負担)	154億7,000万円
○流動資産 現金や財政調整基金等の総額	62億1,900万円	純資産の部 道路や学校、市営住宅などの資産をつくるために支払ったお金(過去または現世代の負担)	385億2,300万円
資産合計	539億9,300万円	負債・純資産合計	539億9,300万円

○資産とは

令和4年度末時点で市が保有している資産で、道路や学校などの有形固定資産や特定の目的のために長期間積み立てている基金などの「固定資産」と、現金預金など必要なときにすぐに現金化できる「流動資産」で構成されている。

○負債とは

将来的に、市に返済義務が生じる借金。資産に対して約29%を占めている。負債額が大きくなると、将来世代への負担が増えることになる。

○純資産とは

市の資産を形成するにあたって、すでに支払いが終わっている資産のこと。資産に対して約71%を占めている。

●市民一人当たりのバランスシート

【資産】299万円 = 【負債】86万円 + 【純資産】約213万円

※人口18,050人(令和5年1月1日現在)で算出

市役所からのお知らせ

Pick up information

■えびの市交通指導員名簿

名前	地域	初年委嘱
福満 義秀	飯野地区	平成13年4月1日
福元 三重子	真幸地区	平成23年3月1日
濱田 喜八郎	飯野地区	平成25年7月1日
有高 美千子	飯野地区	平成25年7月1日
久保 政博	飯野地区	平成27年7月1日
杉本 るり子	飯野地区	平成28年10月1日
田村 誠一	加久藤地区	平成28年10月1日
川野 新吾	加久藤地区	令和元年7月1日
福永 ふじ子	真幸地区	令和6年4月1日



委嘱状交付式には8人が出席しました

交通

交通指導員委嘱状交付式

問 市基地・防災対策課 基地・防災対策係 35・1119 (直通)

4月1日、市役所本庁で「えびの市交通指導員」委嘱状交付式が行われました。

同指導員は、市民の交通安全を確保するため、えびの警察署長、えびの地区交通安全協会長の推薦を受けて、市長が委嘱するものです。市内各地の横断歩道などでの交通指導や交通安全思想の普及などの活動を行っています。

任期は、令和6年4月1日から令和8年3月31日までです。村岡市長は「皆さんは地域に

一番身近な交通安全リーダーだと思います。皆さんの活動が、市民一人一人の意識を高め、地域の安全につながっています。市も皆さんと一緒に地域を守りたいと思います」とあいさつしました。

福満義秀指導員は「市民の安全を守るために、交通安全運動などに取り組み、地域に貢献していきます。また、通学時の交通指導やイベントなどの啓発活動にも努めていきます」と話していました。

協働

自治会活動の支援を行います

問 市民協働課 市民協働係 35・1118 (直通)

飯野地区、上江地区、加久藤地区、真幸地区のコミュニティセンターには、それぞれコミュニティマネージャーが配置されています。

コミュニティマネージャーは、各自治会と連携を図りながら、自治会活動の情報提供や地域の実情の把握、集落の維持・活性化に必要な支援を行います。また、地域で行う世代間交流事業や学習会、地域づくり研修などでは、行政との連携を図ります。

地域の活動に関することはコミュニティマネージャーにお気軽にご相談ください。

コミュニティセンターは、地域住民が気軽に交流できる施設です。いつでもご利用ください。

自治会は、地域の活性化や防災対策など地域の課題解決に欠かすことのできない重要な役割を担っています。

市民の皆さん、自治会に加入し、自治会活動に積極的に参加して、地域を盛り立てていきましょう。

●問い合わせ先

地区名	コミュニティマネージャー	電話番号
飯野地区	山崎 浩二	33-0030
上江地区	愛甲 文広	33-5799
加久藤地区	甲斐 陽二	35-1755
真幸地区	黒松 優子	37-3221

3/10 打植祭



五穀豊穡を願う

今西地区の香取神社と田代地区の天宮神社で「打植祭」が行われました。

この祭りは、香取神社の女神が天宮神社の男神を迎えに行くという神話をもとに、地区の人たちが、両神社を歩き来し、神事などを行い、豊作を祈願するものです。

宮崎県の無形民俗文化財に指定されています。

今年は、4年ぶりに通常規模で開催され、セリや狂言回しなども行われました。参加した人たちは、さまざまな催しを楽しみました。

3/15 真幸小学校募金活動



児童が中心となって募金活動

真幸小学校で、能登半島地震の被災者への義援金の受け渡しが行われました。これは、6年生の児童が中心に募金活動を行い、集まった義援金をえびの市社会福祉協議会に対して、受け渡しを行ったものです。集まった義援金は約2万8千円で、同協議会を通して日本赤十字社に送られます。前田莉子さんは「集まった募金で被災された皆さんが少しでも幸せになってほしいです」と話しました。

3/10 駅前地区徘徊模擬訓練



認知症に対する理解を深める

駅前地区で「徘徊模擬訓練」が行われました。これは、認知症に対する理解者を増やし、認知症の人とその家族が、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指して行われたものです。

事前に学習会を行い、当日は、寸劇や徘徊する人への声かけ、通報を行う模擬訓練が行われ、61人が参加しました。

訓練後は意見交換などを行い、認知症に対する理解を深めました。

市役所からのお知らせ

Pick up information

畜産

家畜伝染病侵入防止の徹底を

畜産農家の皆さん、家畜伝染病の防疫を徹底できていますか。国内においては、今季高病原性鳥インフルエンザの発生が10事例、九州においても、2県(3事例)の発生が確認されています。

さらに、昨年8月、九州管内初となる豚熱の発生が確認され、九州管内の養豚場では、豚熱ワクチンの接種が実施されています。

また、平成30年8月から、東アジア地域で猛威を振るっているアフリカ豚熱は、今年1月14日に、韓国の釜山広域市で、野生イノシシの感染が確認され、依然として終息の目途が立たず、家畜伝染病の発生リスクは、非常に高い状態にあります。

えびの市では、平成22年4月28日に口蹄疫が発生し、627頭もの家畜の尊い命が奪われる大惨事となりました。口蹄疫の発生により、発生農場および近隣農場は、家畜の殺処分、生きた家畜や堆肥の移動制限、子牛セリ市が同年8月まで中止となるなど、畜産業のみならず、地域経済や市民生活に大きな影響を及ぼしました。

そのような中、えびの市では、全車両消毒等、市民一体となった防疫を行い、6月4日に全ての制限が解除されました。

このように、いつ家畜伝染病が発生してもおかしくない状況です。二度と当時のような被害を繰り返さないためにも、飼養衛生管理基準および農場防疫体制の再確認など防疫の徹底をお願いいたします。

えびの市の畜産業を守っていくためにも、畜産農家一人一人の防疫意識が大切です。

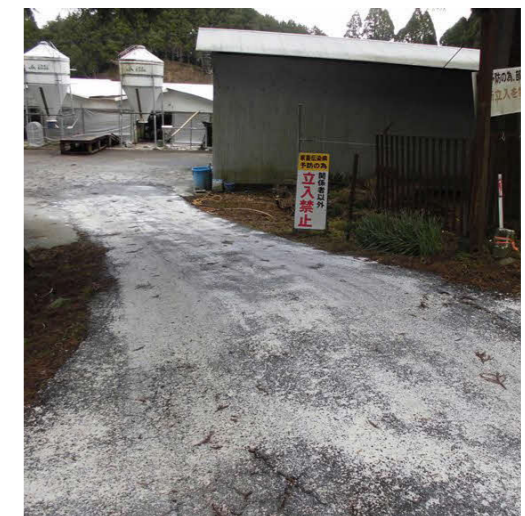
【市民の皆さんへ】

ウイルスの侵入防止には、畜産農家だけでなく、市民の皆さんの協力も不可欠です。農場を訪れる際は、必ず農場主に連絡を入れ、動力噴霧機や踏み込み消毒槽での靴底やタイヤの消毒を徹底してください。

市民一致団結してえびの市の畜産業を守っていきましょう。

●毎月20日は、県下一斉消毒の日です

畜舎の消毒	出荷後、敷料を除去した空の畜舎などを、動力噴霧機により洗浄・消毒を行います。動力噴霧機がない場合は、消毒薬をジョウロなどで散布しましょう。
消石灰散布	車両が入ってくる農場入口に、全体的に白くなるように散布します。車両のタイヤが十分に一周(250cm程度)するくらいの長さ・幅で散布してください。
踏み込み消毒槽の設置・点検	畜舎入口には踏み込み消毒槽を必ず設置するようにしてください。泥や土等が大量に混ざると効果が薄まりますので、こまめに点検し、消毒薬が汚れていたらすぐ取り替えるようにしましょう。
畜舎範囲の清掃	畜舎周囲の除草や草刈り等を含めた環境の整備に努めましょう。



家畜を守るのは、農場主自身が防疫体制を整えることが大前提です。消石灰の定期的な散布、踏み込み消毒槽の設置・定期的な消毒薬の交換、農場立入者の記帳等、従業員や家族一丸となって、防疫体制を整えるをお願いします。

3/30

「あなたのふるさとって素敵!!」



課題解決を楽しむ

市文化センターで「あなたのふるさとって素敵!!」が行われました。これは、えびの市の子どもたちの未来の可能性について語り合うことを目的に、地域団体 APE えびのが行ったものです。講師に、宮崎大学地域資源創成学部准教授の土屋有さんを招き、パネルディスカッションを行いました。参加した的場世莉さんは「課題も視点を変えることで面白くなるので、探究していきたいです」と話していました。

3/28

オーガニックビレッジ宣言



有機農業を地域一体となって

市役所で、エコロジカルタウンえびの推進協議会臨時総会が行われ、村岡隆明市長が「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。これは、環境負荷の少ない有機農業について、農業者や農業関係者、地域が一体となって考えるなど、えびの市全体の活性化を目指して宣言したものです。市長は「農家も住民も笑顔になれるようなまちづくりを進めていきます」とあいさつしました。

4/2

えびの市消防団ラッパ隊敢闘賞受賞報告



数少ないメンバーで敢闘賞を受賞

えびの市消防団ラッパ隊が、令和5年度消防団ラッパ隊フェスティバルで、敢闘賞を受賞したことを市長に報告しました。これは、第33回宮崎県消防大会で開催されたもので、県内消防団員の士気高揚とラッパ隊員の資質向上を図るために行われています。

同隊の浜村政弘隊長は「数少ないメンバーですが、この受賞で気持ち新たに一致団結して励んでいきたい」と話していました。

3/21

生徒会役員交流会



生徒会活動の活性化を図る

市内の中学校で「えびの市中学校生徒会役員交流会」が行われました。これは、各学校の生徒会役員が情報交換を行い、生徒会活動の活性化を図ることを目的に行われました。

交流会は、オンラインで行われ、各校の生徒会役員がそれぞれ行ってきた活動の紹介や、これからの課題などについて話し合いを行いました。また、各校の特色ある活動について質問が飛び交っていました。

3/18

防犯ブザー贈呈



安心・安全のお守りとして

西諸地区生コンクリート事業協同組合の小菜良雄事務局長が市長を訪問し、防犯ブザー約110個を市に寄贈しました。これは、同組合が今春小学1年生になる児童の防犯に役立ててもらおうと、毎年行っているものです。ブザーは、入学式で新1年生に配られました。

同組合の小菜事務局長は「子どもたちが安心・安全な学校生活を送れるように、お守りのようなものになってほしいです」と話していました。

3/21

ランドセルマスケット贈呈



子どもたちの安全を願って

JA えびの市女性部から市にランドセルマスケット約100個が寄贈されました。

これは、同部会が安全を願って毎年作成しているもので、今回が12回目の配布になります。ランドセルマスケットは、入学式で新1年生に配られました。

同部代表の松永亮子さんから「神社で安全祈願をしています。ぜひ、ご利用ください」とあいさつがありました。

3/20

霧島ジオパーク住民ワークショップ



ジオパークに対する理解を深める

市役所で「霧島ジオパーク住民ワークショップ」が行われました。これは、地域住民や関係自治体行政職員等の霧島ジオパークに対する意識醸成や、認知度向上を図ることを目的に行われました。

参加した人たちは「ジオパークを語ろう!!」をテーマに、ジオパークの考え方を学び、1人1人が思い描く霧島ジオパークについて話し合いました。

図書館へ行こう!

おすすめの冊



選挙、誰に入れる?
 ちょっとでも良い未来を「選ぶ」ために知っておきたいこと
 宇野重規 監修
 (Gakken)



一年に一度しか会えない
日本の「来訪神」図鑑
 フランそあ根子 著
 (青春出版社)

ブックランド号 運行スケジュール

運行場所(ルート)	運行日(5月)	時間
岡元小学校→さくら苑	1日(水)、15日(水)、29日(水)	13:15~15:15
上江小中学校→真幸出張所→Aコープかとう店→加久藤地区体育館 ※16日は、上江小中学校を除く(14:50~16:30)	2日(木)、16日(木)、30日(木)	12:45~16:30
市役所→飯野地区コミュニティセンター	17日(金)、31日(金)	12:30~15:15
真幸地区体育館	8日(水)、22日(水)	15:25~15:50
飯野出張所→Aコープいいの店→自衛隊官舎	10日(金)、24日(金)	14:50~16:30

■春の図書館まつり

ガチャポンブック! オリジナルガチャポンを設置します。ガチャポンを回して、自分の運命の本と出会ってみよう。
 ●開催日=5月3日(金)~6日(月)
 ●場所=図書館
 ●対象=子ども向け

■生物多様性展示

生き物たちの豊かな個性とつながりを学ぶための本を特集します。タヌキ、アナグマ、キジのはく製も展示します。
 ●開催日=5月1日(水)~6月2日(日)
 ●場所=図書館

■ぬいぐるみおとまり会

大切なぬいぐるみを1日図書館におとまりさせてみませんか? お迎えの時にぬいぐるみたちが選んでくれた本を貸出します。*申し込みが必要です。
 ●開催日時=5月4日(土) 午前10時30分~
 [お迎え] 5月5日(日) 午後5時まで
 ●場所=図書館
 ●定員=先着10組(ぬいぐるみは1人1つまで)

えびの市民図書館 (@EbinoCityLib)
<https://twitter.com/EbinoCityLib>
 ※右のQRコードからも見る事ができます。

えびの市民図書館
 ☎35-0242 <https://www.ebino-library.com/>
 開館時間 火曜~土曜/午前9時~午後7時
 日曜・祝日/午前9時~午後5時
 休館日 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

TOPICS

まちの話題をお届け

4/7

消防団入退団式



消防団員として決意誓う

市文化センターで「令和6年度えびの市消防団入退団式」が行われました。今年度は、新たに14人が消防団に入団し、15人が退団しました。式典では、中隊長や小隊長、新入団員などへの辞令交付などが行われました。
 新入団員を代表して、本部付部に入部した竹下瑠美さんが「良心に従って忠実に消防の義務を遂行することを厳粛に誓います」と宣誓しました。

4/3

感謝状贈呈式



長年の健康づくり活動に感謝を

市役所で、市長からえびの市食生活改善推進協議会に感謝状が贈呈されました。これは、長年の食生活を中心とした健康づくり活動に対して贈られたものです。同協議会は、31年間に渡って活動し、イベント等でのみそ汁塩分濃度測定や減塩の大切さの啓発などを行ってきました。秦エミ子会長は「楽しく活動しながら、市民の皆さんに喜んでいただけて良かったです」と話していました。

4/8

水稻豊年祈願



水稻の豊作を願って

弘泉寺で「水稻豊年祈願」が行われました。これは、今年度の水稻が昨年以上の豊作となり、えびの産ひのひかりが今後も継続した評価を得られるよう願うために行われたものです。
 JAみやざきえびの市地区本部 JA 稲作振興会の高牟禮宏邦会長は、「えびの市の米作りは、特Aという1つの目標に向かう過程が根付いています。皆さんの力を借りながら、米作りにまい進していきます」とあいさつしました。

4/5

地域安全・交通安全運動決起集会



安心安全に生活できるまちに

市文化センターで「春の地域安全・交通安全運動決起集会」が行われました。これは、犯罪や交通事故のない安心して生活できるえびの市を目指そうと行われているものです。集会には、37団体の約170人が参加しました。
 集会では、新入学児童生徒の代表に防犯ブザーやランドセルカバーなどが手渡されました。集会の最後には、がんばろう三唱を行い、交通事故防止などへの決意を固めました。

あなたも作ってみませんか 心の一首一句

■俳句

早蕨の苦み抜けたる深緑

中堀ふじ子

■詩

春

春のふわつとした日 心地よい風

伊地知恵子

菜の花 チューリップ 桜 パンジー

鮮やかな色彩にしばし見入ってしまう

新年度がはじまり 新しい一歩がはじまる

それぞれに希望に満ちた瞬間

私も初心の気持ち思い出しながら

応援メッセージを送りたい

新入学児童を守りましょう



4月に入り、新入学児童の登下校が始まりました。新入学児童を交通事故から守るため、次のことに気を付けてください。

- ・保護者の皆さんは、子ども目線で通学路の危険な場所を確認しましょう。
- ・横断歩道は歩行者優先です。
- ・道路を渡るときは、「止まって」・「見て」・「車が止まるのを確かめて」ください。

3月の交通事故発生状況	人身物件	3件	本年累計	10件
		24件	本年累計	72件

えびの署の人事異動



4月1日付けの人事異動で職員が代わりました。

【着任】吉永拓二（中央消防署）、福村幸太郎（須木分遣所）、中間秀（中央消防署）、横山諒（中央消防署）、中窪良亮（高原分遣所）、南郷真（須木分遣所）、大瀨俊賢（警防指令課指令係）、田中航平（中央消防署）

【離任】眞方智宏（中央消防署）、杉元宏樹（須木分遣所）、切畑昂耶（野尻分遣所）、内嶋健太郎（警防指令課指令係）、内窪優太（中央消防署）、西健太（中央消防署）、田野聖也（高原分遣所）

今後も、市民の皆さんの生命、身体、財産を守り、信頼のある組織作りを継続していきます。

3月の活動状況（えびの消防署管内）	火災救助	5件	本年累計	11件
		82件	本年累計	283件

生涯スポーツ

Lifelong sport



小さな掛金・大きな補償「スポーツ安全保険」

公益財団法人スポーツ安全協会では、令和6年度スポーツ安全保険の加入受け付けを行っています。

スポーツ安全保険は、スポーツ・文化・ボランティアや地域活動等を行う人々を対象に、自宅と目的地までの行き帰りも含め、団体活動中の傷害事故などを補償するものです。

【対象】スポーツ活動や文化活動などを行う4人以上の団体

【補償範囲】加入手続きを行う

た団体の管理下における団体活動中の事故、団体が指定する集合・解散場所と被保険者の自宅との通常経路の往復中の事故

【保険期間】4月1日～令和7年3月31日

※年度内の中途加入可（保険期間：3月31日）

【加入方法】インターネットによる申し込み（スポーツ安全協会のホームページの「スポあんネット」のリンク先から接続できます。）

詳しくは、市社会教育課等に設置している「スポーツ安全保険のあらまし」、「スポあんネット操作ガイド」をご覧ください。

■問い合わせ

公益財団法人スポーツ安全協会
 ☎0570・087109（固定電話）
 ☎03・5510・0033（携帯電話等）
 市社会教育課市民体育係（市文化センター内）
 ☎35・2268（直通）

文：市社会教育課市民体育係

男女共同参画

Gender Equality



あなたを支える「新しい法律」

「事情があつて働けずにお金がない」、「思いがけず妊娠してしまった」など、さまざまな理由で困っている女性を支えるために、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（女性支援新法）」が、令和6年4月1日から施行されました。

これは、支援を必要とする女性が抱えている問題や、心身の状況などに応じた適切な支援を包括的に提供し、女性が安心かつ自立して暮らせる社会の実現

に寄与することを目的にしています。

女性をめぐる課題は、生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻など、複雑化・多様化・複合化しています。そして、コロナ禍で、こうした課題が顕在化し、「孤独・孤立対策」といった視点も含め、新たな女性支援の強化が、喫緊の課題となっています。

このような中、困難な問題を抱える女性支援の根拠となる法

律を、「売春をなすおそれのある女子の保護更生」を目的とする売春防止法から切り離し、先駆的な女性支援を実践する「民間団体との協働」といった視点も取り入れた新たな支援の枠組みを構築することが必要です。

「私の悩みは誰にもわかってもらえない」、「自分さえ我慢すれば」、「そういった悩みは、一人で抱え込まなくても大丈夫です。あなたを手助けする人たちがいます。」

文：市総務課人権啓発室

市立病院

City hospital



精神科を紹介します

市立病院では、令和5年10月から精神科を開設しています。精神科（心療内科）は、主に認知症などの加齢に伴う不安定な状態や、ストレス性と思われる原因のはっきりしない症状（不定愁訴）や不眠など、長引く心や体の不調の改善を目指します。

精神科全般にわたって、皆さんの健康維持をサポートいたします。また、当院には、内科や外科、整形外科、リハビリ科も

ありますので、心と体の不調をトータル的にサポートしています。

一方で、地域連携室（相談室）を通じて、近隣の医療機関や施設とも連携しながら、患者一人一人にとって最適な環境を提案するように努めています。

ストレス社会と言われて久しい昨今です。また、コロナウイルス感染症などの不安な状況もあり、心身の不調を来しやすい状況です。今後とも、皆さん

の健康維持に貢献できるように努めていきます。

■精神科

【担当】鈴木康義医師

【診療日】月曜～金曜

【時間】「受付」午前7時～午前11時30分

「診察」午前8時30分～正午

※受診の際に予約は必要ありません。

文：市立病院地域医療連携室



生涯学習講座 「パソコン講座」参加募集

■パソコン・Word講座

パソコンの入力方法、マウスの操作、ファイルの作成、作表・作図、Wordを用いた文書作成（要望に応じて回覧板、イベント情報、案内チラシなど）をレベルに応じて、4回に分けて学習します。

【開催日】①5月8日、15日、22日、29日（毎回水曜）
②5月10日、17日、24日、31日（毎回金曜）

■Excel講座

Excelの概要や表のけい線作成、簡単な数式の入力方法などを4回に分けて学習します。

【開催日】①5月9日、16日、23日、30日（毎回木曜）
②5月14日、21日、28日、6月4日（毎回火曜）

■共通事項

【場所】市文化センター

【時間】午後1時～午後3時30分

【対象】市内在住者

【募集人員】各コース4人まで

【参加費】無料

【申込方法】市社会教育課パソコン講師（担当：新名）に電話でお申込みください。

【申込期限】各コース定員に達するまで

【その他】・各講座①、または②のどちらか希望する日程をお知らせください。

・個人所有のパソコンの持ち込みも可能です。

■パソコン相談

パソコンの使い方について、相談に応じます。パソコン持ち込みでの相談も対応します。

※パソコンの故障・修理の対応はできません。

※相談には、事前の申し込みが必要です。

【対象】市内在住者で、パソコンの操作に困っている人

【時間】午前10時～午後3時

【場所】市文化センター

【参加費】無料

【申込方法】市社会教育課パソコン講師（担当：新名）に電話でお申し込みください。

申・問市社会教育課パソコン講師（市文化センター内）

☎35-2268（火曜～金曜）

こどもの日作品展を開催します

市歴史民俗資料館では、市内の園児が作成した作品を展示します。ぜひ、ご来館ください。

【開催日】4月27日（土）～5月12日（日）

【時間】午前9時～午後6時（火曜～土曜）

午前9時～午後5時（日曜・祝日）

【場所】市歴史民俗資料館 展示ホール

【休館日】4月30日（火）、5月7日（火）

問市歴史民俗資料館

☎35-3144

障がい児・障がい者出張相談会を開催します

身近に「障がい」について悩んでいる人はいませんか？自分の事、子ども・家族の事など、どなたの相談でも大丈夫です。関係機関の人の相談でも大丈夫です。相談の内容を同意なく外部に漏らす事はありません。専門職員が対応しますので、安心してご相談ください。

【開催日】5月24日（金）、8月24日（金）、11月22日（金）、令和7年2月28日（金）

【時間】午前10時～午後3時

【場所】えびの市社会福祉協議会

【費用】無料

【その他】予約は必要ありません。また、上の日時以外でも相談は可能です。

問にしもろ基幹相談支援センター

☎22-2373

権利擁護無料相談会と後見人等の集いを開催します

にしもろ地区権利擁護推進センターつなごでは、権利擁護に関する無料相談会を実施します。これは、「身寄りがなく将来が心配」、「財産管理で困りごとがある」、「福祉サービスの利用の仕方がわからない」など、認知症や障がいがあり判断能力が低下している人、その家族、医療・福祉施設関係者のために実施しているものです。

また、相談会に合わせて、後見人等の集いも実施しま

す。後見人等をしている人の悩みや、家庭裁判所への提出書類の作成方法に関する相談なども受け付けます。

【開催日】5月8日（水）、8月8日（木）、11月7日（木）、令和7年2月7日（金）

【時間】午後1時30分～午後3時30分

【場所】えびの市社会福祉協議会（総合福祉センター）

【費用】無料

【相談員】弁護士、司法書士、社会福祉士など

【その他】予約が必要です。なお、相談内容が外部に漏れることはありません。

問にしもろ地区権利擁護推進センターつなご

☎27-3358

「えびの駐屯地創立43周年記念行事」を開催します



えびの駐屯地では、創立43周年記念行事を開催します。記念行事は、2部構成で、2日間行います。

第1部は、飯野中学校・加久藤中学校吹奏楽部と第8音楽隊の演奏、市中パレード、装備品展示等を行います。第2部は、観閲式、観閲行進、戦闘訓練展示、体験搭乗等を行います。

ぜひ、ご覧ください。

■第1部

【開催日】5月25日（土）※天候等により一部変更や中止になる場合があります。

【時間】午前10時～午後2時

【内容】[第8音楽隊等演奏] 午前11時50分～

[市中パレード] 午後0時50分～

[装備品展示] 午前10時～午後2時

【場所】県道飯野停車場線（Aコープいいの店から鹿児島銀

行えびの支店まで）
※パレードコースは午後0時40分～午後1時30分まで通行止めになります。観閲者は、飯野小学校、飯野地区コミュニティセンター、飯野地区多目的広場、えびの市民体育館駐車場をご利用ください。

■第2部

【開催日】5月26日（日）※天候等により一部変更や中止になる場合があります。

【時間】午前9時～午後3時（一般開放実施時間）

【場所】えびの駐屯地

【内容】観閲式・観閲行進・観閲飛行、音楽演奏、戦闘訓練展示、太鼓演奏、野外出店、ミニ制服試着等（陸・海・空）、装備品展示、体験搭乗等

問えびの駐屯地 広報室

☎33-3904（内線272・273）

問市基地・防災対策課 基地・防災対策係

☎35-1119（直通）

令和6年度の学校給食費を無償にしています

市では、物価高騰等の影響を受けている小・中学生の保護者の経済的負担の軽減を図るため、学校給食費の無償化を実施しています。

【対象】①市内小学校および中学校在籍児童生徒分
②保護者が市内に住所を有し、市外の特別支援学校小学部および中学部に通学する児童生徒分

【補助額】

対象	1食単価	1月（※）	年間（※）
市内小学校	233円	約4,200円	約46,000円
市内中学校	275円	約4,900円	約54,000円
市外の特別支援学校通学者	市内小・中学校の学校給食費の1食単価を基に積算した額		

※年間給食提供日数を、小学校199日、中学校197日とした場合の概算額

問防災食育センター

☎33-0270（直通）



ご利用ください「未利用資源活用モデル事業補助金」

市では、もみ殻や竹などの未利用資源を活用した新たな畜産敷料の開発・実証に取り組む事業者を公募します。

【公募数】1事業者

【対象者】市内に住所を有する農業者、または中小企業者のうち、農業用資材の製造・仕入れ・販売を行うもので、市内農業者および団体と連携して取り組める者

【対象経費】もみ殻粉碎機および竹粉碎機の取得経費

【補助率】対象経費の2分の1

【補助上限額】700万円

【申込期限】5月10日（金）

【申込方法】申請書を市畜産農政課畜産振興室に提出してください。※申請書は市畜産農政課で取得できます。

詳しくは、市畜産農政課畜産振興室にお問い合わせください。

申・問市畜産農政課 畜産振興室
☎35-3744（課直通）

- （1）農業経営規模の1割以上の拡大
 - （2）農業所得の1割以上の拡大
 - （3）生産性の1割以上の向上
 - （4）経営コストの1割以上の削減
 - （5）農作業時間の1割以上の削減
- ※事業費（消費税抜き）が50万円以上のものが対象

【持参するもの】

- ・補助対象事業内の目標設定（1）から（5）で該当する項目の現状値が確認できる資料
- ・導入を希望する機械等の見積書
- ・申告書（個人事業者の場合は令和5年分確定申告書と収支内訳書の写し、法人格の場合は決算報告書の写し）
- ・導入を希望する機械等のパンフレット

【補助額】事業費（消費税抜き）の2分の1または130万円のうち低い額

※予算枠を超える要望があった場合は、先駆性、導入効果等により対象者を選定します。

申・問市畜産農政課 担い手対策係
☎35-3744（課直通）

令和6年度第1回スマート農業推進事業の説明会と要望調査

市では、ロボット技術やICT等を活用して、超省力・高品質生産を実現する新たな農業（スマート農業）を推進するため、事業費の補助を行っています。

今回、1回目の事業説明会と要望調査を実施します。ぜひ、ご参加ください。

【開催日】5月7日（火）

【時間】[午前の部] 午前10時～正午

[午後の部] 午後1時30分～午後3時30分

【場所】市役所本庁 1-3・4会議室

【対象者】市税等の滞納がない人で、次のいずれかに該当する人

- ・認定農業者（認定見込者含む）
- ・認定新規就農者（認定見込者含む）
- ・農業者団体（構成員の過半数が認定農業者または認定新規就農者）

【補助対象事業】市内でロボット技術、AI、IoT等の先端技術を活用した先駆的な取り組みであり、次のうち2つ以上の目標達成に必要な機械等

合併処理浄化槽に転換しましょう

市では、河川水質保全のために、「単独処理浄化槽」・「汲み取り便槽」から「合併処理浄化槽」への転換を促進しています。合併処理浄化槽に転換することにより、生活排水の汚れを約7～8分の1にすることができます。

設置に対する補助金があります。ぜひ、ご利用ください。

【補助金額】

【設置費】

人槽区分	新設	単独処理浄化槽・汲み取り便槽からの転換
5人槽	222,000円	332,000円
7人槽	276,000円	414,000円
10人槽	366,000円	548,000円

【宅内配管工事費】

設置費に加え150,000円（上限額）

【単独処理浄化槽撤去費（撤去した場合のみ）】

設置費に加え90,000円（上限額）



申・問市民環境課 生活環境係
☎35-3731（直通）

京町定住促進住宅内覧会を実施します

市では、京町定住促進住宅の利便性の向上を図るため、1棟107号室と1棟108号室の風呂（追い焚き機能付き）およびトイレ（洗浄機能付き）の改修を実施しました。そこで、改修後の住戸の内覧会を実施します。なお、感染症対策や混雑を避けるため、必ず予約してください。

■内覧会

【開催日】4月27日（土）、28日（日）

【時間】午前9時～午後4時

【場所】京町定住促進住宅1棟107号室、1棟108号室（えびの市大字向江1072番地）

【申込方法】市財産管理課住宅係に電話で予約してください。

【申込期限】4月26日（金）午後3時まで

【交通機関】

[列車] JR京町温泉駅から徒歩11分

[バス] 宮崎交通京町待合所から徒歩9分

[自家用車] えびのインターから車で8分

【教育機関】

えびの市立真幸小学校から徒歩5分

えびの市立真幸中学校から徒歩4分

真幸認定こども園から徒歩1分

■入居申し込み

【募集対象住戸】京町定住促進住宅1棟107号室、1棟108号室

【募集期間】5月1日（水）～5月7日（火）

【家賃】1カ月 30,000円（別途、共益費2,000円/月、駐車場1台1,000円/月が必要です。）

※入居申し込みには一定の要件があります。詳しくは市財産管理課住宅係にお問い合わせください。

※応募多数の場合は抽選になります。あらかじめご了承ください。

申・問市財産管理課 住宅係
☎35-1120（課直通）

「オレンジカフェよかところ」を開催します

市では、認知症や介護などについて、日頃の思いを語り合ったり相談したりできる集いの場「オレンジカフェよかところ」を定期的に開催しています。認知症の人や家族介護者、認知症に関心がある人など、子どもから高齢者までどなたでも利用でき、ゆっくりくつろげる場にもなっています。

事前申込みは不要です。お茶やコーヒーを飲みながら、おしゃべりしてみませんか？

【場所】市民図書館 学習室

【開催日】原則毎月第3水曜日（令和7年3月のみ第2水曜日）

【時間】午前9時30分～11時30分（時間内の出入りは自由です）

【参加費】50円（飲み物・お菓子代として）

問市介護保険課 地域包括支援センター
☎35-1112（課直通）

外国人住民のための日本語講座 参加者募集

市国際交流センターでは、外国人住民の皆さんのえびのでの生活を支援するため「外国人住民のための日本語講座」を開設します。ぜひ、ご参加ください。

【開催日】5月18日（土）から毎週土曜日

【時間】午前10時～正午

【場所】市国際交流センター

【講師】立久井 真紀子氏（タイで日本語講師の経験あり）

【対象】日本に住んで2年以内の外国人住民

【参加料】無料

【申込方法】市国際交流センターに電話で申し込んでください。

申・問市国際交流センター
☎35-3211



霧島演習場内一斉捕獲を実施します

霧島演習場内で銃器を使用して有害鳥獣捕獲を実施します。当日の立ち入りはできません。

【捕獲日】4月28日(日)、5月1日(水)、5日(日・祝)

☎市農林整備課 林務係

☎35-3725(課直通)

「緑の募金」にご協力ください

「緑の募金」は、地球温暖化防止をはじめとした課題に向けて、環境の緑化や森林の整備などに役立てられています。募金は、宮崎県緑化推進機構に送り、募金額の7割が各市町村に還元されます。各市町村で、苗木配布や植樹祭の実施、学校・公園の緑化、木工教室などの体験学習などで大切に活用されます。皆様のご協力をお願いします。

【対象】各家庭一戸当たり200円

【期間】5月31日(金)まで

☎市農林整備課 林務係

☎35-3725(課直通)

市内商工業者に対する融資制度をご活用ください

市では、中小企業の振興に寄与することを目的に、市内商工業者に対して、必要な資金を融資します。

■中小企業融資預託経営支援資金

【対象者】市内商工業者

【資金の使途】運転資金

【限度額】500万円以内

【利率】年3.0% ※令和6年度は、市に利子相当額の補助金申請ができます。

【融資期間】融資実行日から6カ月以内

【返済期限】令和7年3月14日(金)

【保証人】原則1人以上

【償還方法】取扱金融機関が定めています。

【取扱金融機関】宮崎銀行(飯野支店)、鹿児島銀行(えびの支店)、高鍋信用金庫(えびの支店)

【申込期限】令和7年2月28日(金)

【申込方法】借入申込書をえびの市商工会を經由して取扱金融機関に提出してください。

※借入申込書は取扱金融機関にあります。

■中小企業特別融資制度

【対象者】市内中小企業

【資金の使途】運転資金・設備資金

【限度額】1,000万円以内

※この制度の貸付残高と次の小口零細企業融資制度の貸付残高の合計が1,000万円以内であることを要する。

【利率】年1.8% ※保証料は市が負担

【融資期間】84月以内

【保証人】法人の場合は原則として代表者、個人事業者の場合は原則不要

【償還方法】一括償還または分割償還

【取扱金融機関】宮崎銀行(飯野支店)、鹿児島銀行(えびの支店)、高鍋信用金庫(えびの支店)

【申込期限】随時受け付けています。

【申込方法】借入申込書をえびの市商工会を經由して取扱金融機関に提出してください。

※借入申込書は取扱金融機関にあります。

■小口零細企業融資制度

【対象者】市内中小企業のうち小規模事業者

[商業(卸売業・小売業)・サービス業] 従業員数5人以下

[宿泊業・娯楽業] 従業員20人以下

[製造業・その他] 従業員20人以下

【資金の使途】運転資金・設備資金

【限度額】1,000万円以内

※この制度の貸付残高と既存の協会の保証付き貸付残高の合計が2,000万円以内であることを要する。また、この制度の貸付残高と前の中小企業特別融資制度の貸付残高の合計が1,000万円以内であることを要する。

【利率】年1.6% ※保証料は市が負担

【融資期間】84月以内

【保証人】法人の場合は原則として代表者、個人事業者の場合は不要

【償還方法】一括償還または分割償還

【取扱金融機関】宮崎銀行(飯野支店)、鹿児島銀行(えびの支店)、高鍋信用金庫(えびの支店)

【申込期限】随時受け付けています。

【申込方法】借入申込書をえびの市商工会を經由して取

扱金融機関に提出してください。

※借入申込書は取扱金融機関にあります。

☎市観光商工課 商工係

☎35-3728(直通)

「えびの市中小企業大学校受講補助金」をご活用ください

市では、経営に必要な知識を取得するため、中小企業事業団中小企業大学校の研修を受講することに対し、受講料の一部を補助します。

【対象者】市内に事業所を有する中小企業の事業主またはその従業員

【補助限度額】1人当たり2万円 ※ただし、受講料が2万円に満たない場合はその額とする。

※1企業当たり4万円が上限

【申込方法】必要書類を市観光商工課商工係に直接提出してください。※必要書類は市ホームページからダウンロードするか、市観光商工課商工係で取得してください。

【申込期限】令和7年2月28日(金)

【事業期間】令和7年3月31日(月)

【留意事項】

・補助金の交付決定前に受講した場合は、補助対象外となります。

・事業終了後、研修終了を証明する書類等を提出してもらいます。

☎市観光商工課 商工係

☎35-3728(直通)

ご利用ください「えびの市中小企業職場環境改善支援補助金」

市では、雇用の安定的な確保を目的に職場環境の改善を図ろうとする市内の中小企業に対し、その経費の一部を補助します。

【対象者】次のすべてに該当する中小企業

・市内に事業所等を有すること

・現に従業員を雇用し、引き続き雇用を継続する意思を有すること

・市税等を滞納していないこと

【補助対象経費】研修会事業、労働環境改善事業、子育て

応援事業、高速道路通勤者支援事業に関する経費

【補助限度額】[研修会・労働環境改善・子育て支援事業] 補助対象経費合計額の2分の1以内(上限20万円)

※補助金の交付回数は、同一企業につき同一年度1回 [高速道路通勤者支援事業] 補助対象者が従業員に対し支給した高速道路料金の2分の1以内(1従業員当たり上限10万円かつ1企業当たり5人を限度とする。)

【申込方法】必要書類を市観光商工課商工係に直接提出してください。※必要書類は市ホームページからダウンロードするか、市観光商工課商工係で取得してください。

【申込期限】令和7年2月14日(金)

【事業期間】令和7年3月14日(金)

【留意事項】

・補助金の交付決定前に実施した事業は補助対象外となります。

・申請後、市が納税状況について調査しますが、滞納がある場合は補助金の交付ができません。事前に納税状況を確認し申請をお願いします。

・事業終了後、実績報告書および支払いが確認できる書類等を提出してもらいます。

☎市観光商工課 商工係

☎35-3728(直通)

指名競争入札参加資格審査申請書(指名願いの)の定期受け付け

市では、物品等、清掃・警備・設備維持管理・施設管理業務の定期受け付けを行います。

【受付期間】5月1日(水)～31日(金) ※土・日、祝日を除く

【受付時間】午前9時～午前11時30分、午後1時30分～午後4時

【提出方法】市財政課入札・契約係に直接、または郵送(5月31日(金)までの消印有効)で提出してください。

※申請書類は、市ホームページからダウンロードするか、市財政課で取得できます。

※直接の受け付けは、市内に本店、または支店等がある事業者のみです。

【有効期限】令和6年8月1日～令和8年7月31日(2年間)

☎市財政課 入札・契約係

☎35-3716(課直通)



軽自動車税は納期限内に納めましょう

軽自動車税は、毎年4月1日現在で、宮崎運輸支局に登録されている軽自動車や126cc以上のバイク、市町村で登録しているバイク（125cc以下）、小型特殊自動車を持っている人に課税されます。

軽自動車の所有者は、5月31日（金）までに軽自動車税を納めてください。市役所、または金融機関、各コンビニエンスストアでも軽自動車税を納めることができます。詳しくは、納税通知書をご覧ください。

令和6年度の軽自動車税の納税通知書は、5月上旬ごろに発送予定です。もし、5月中旬までに納税通知書が届かないときは、市税務課にお問い合わせください。

なお、障がい者のために使用する軽自動車について、

一定の要件に該当する場合は、5月31日までに申請すれば、軽自動車税が免除されます。

【軽自動車税（種別割）の納税通知書の発送】現金で納付する人は、令和6年度から車両1台につき1通の納税通知書を送付します。複数の車両を所有、または使用する人は、複数枚の納税通知書を送付します。所有、または使用する車両台数と納税通知書の発送枚数が一致しているかご確認ください。

【口座振替日】軽自動車税の納期限は5月31日（金）です。口座振替日も5月31日（金）となりますので、振替日の前日までに預金残高の確認をしてください。

【軽自動車税はスマートフォン決済アプリ（PayPay等）でもお支払いできます】スマートフォン決済アプリで納付した場合は、納付してから市で納付確認ができるまでに若干の日数を要します。納付後すぐに車検用の納税証

明書が必要な人は、支払った画面を市税務課、または飯野・真幸出張所で提示してください。取得の際は、自動車検査証が必要です。

問市税務課 市民税係
☎35-3734(直通)

5月は自動車税(種別割)を納める月です

自動車税（種別割）は、4月1日現在で、宮崎運輸支局に登録されている自動車の所有者、または使用者に課税されます。

自動車の所有者は、5月31日（金）までに自動車税（種別割）を納めてください。

納付は、金融機関、県税・総務事務所、コンビニエンスストアのほか、自宅等でもパソコンやスマートフォンからキャッシュレスで納めることもできます。

キャッシュレスでの納付は、スマートフォン決済アプリ（PayPay、楽天ペイ、auPAYなど、約20種類が対応可能）、クレジットカード、インターネットバンキングが利用できます。詳しくは、納税通知書をご覧ください。

令和6年度の自動車税の納税通知書は、4月下旬頃に発送予定です。

なお、障がい者のために使用する自動車については、一定の要件に該当する場合は、5月31日までに申請すれば、自動車税（種別割）が減免される場合がありますので、早めにご相談ください。

問小林県税・総務事務所
☎23-3194

堆肥の悪臭防止等にご協力ください

水稲や飼料、園芸作物の作付けのため、堆肥を散布する機会が増えますが、散布後の悪臭等の苦情が多く寄せられています。堆肥をほ場に持ち出し、天候等の都合により堆肥散布ができない場合は、必ずシート等で堆肥を覆うか、散布後は直ちに耕運するようお願いします。

また、堆肥運搬車両や散布機械等で公道を走行する場合も堆肥等が落下しないよう注意をお願いします。

万一、落とした場合は、ほうきなどで清掃をお願いします。

地域一体となり、住みよい地域にしていきたいと思います。

問市畜産農政課 畜産振興室
☎35-3744(課直通)

証明書等コンビニ交付サービスをご利用ください

マイナンバーカードを利用して、市が発行する証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書等）を全国のコンビニエンスストア等のマルチコピー機で取得できます。

【利用日時】午前6時30分～午後11時

※年末年始を除く

※戸籍証明のみ平日午前9時～午後5時

【取得できる証明書】

住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部（一部）事項証明書、戸籍の附票の写し、所得課税証明書、非課税証明書

問市民環境課 市民・年金係 ☎35-1117 (直通)

問市税務課 収納対策室 ☎35-3737 (直通)

祝！100歳 いつまでもお元気で

3月末までに100歳を迎えられた皆さんを紹介します。



山田重男さん
(南原田)



木原キミさん
(池島)



山野スミエさん
(中島)



鶴田カナエさん
(湯田)



平山ウタコさん
(京町)



米倉エミ子さん
(南昌明寺)



今月の表紙 >>

3月10日、今西地区の香取神社と田代地区の天宮神社で行われた打植祭。4年ぶりに通常規模での開催となり、狂言などが行われました。

今月の納税 >>

固定資産税 第1期
介護保険料 第1期

4月30日(火)までに納めましょう。

人口 >>

16,033人 (前月比 -164人)

男性/7,545人(-84人) 女性/8,488人(-80人)

転入/86人 転出/220人 出生/4人 死亡/34人

世帯数 >>

7,609世帯 (前月比 -52世帯)

(令和6年4月1日現在)

Editor's >>

3月から4月にかけて、イベントが目白押しでした。今西・田代地区の打植祭や八幡丘公園の桜など、さまざまなものが春の訪れを知らせてくれました。新年度も迎え、広報担当3年目に突入しました。皆さんにいろんな情報をお届けし、楽しく読んでもらえる広報紙を作れるようまい進していきたいと思います。(中川)

交通規制のお知らせ

90周年
1934-2024
国立公園「霧島」指定90周年記念大会

第35回 えびの京町温泉マラソン大会

2024年5月19(日)

8:00頃～12:00頃

◆皆様のご協力をお願いします◆

- ◎大会開催中は以下の通り交通を規制します。
- ◎規制時間中は、コース上への車両の乗り入れができません。
- ◎スタート時間が1時間早まったため、交通規制時間も1時間程度早まっています。



交通規制に関するお問い合わせ

えびの京町温泉マラソン大会実行委員会
事務局 えびの市観光商工課内
TEL : 0984-35-1114
運営委託会社 テレビ宮崎商事株式会社